

一般質問発言通告書

発言順位	13 番
------	------

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議員 堀江 和雄 様

三島市議会議員 3 番 村田 耕一

質問事項 1	介護体制
具体的内容 認知症や独居の高齢者が増加する中、住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、相談をはじめとしたさまざまな支援を行っていく必要がある。現状をふまえ以下に伺う。	
1 要介護認定の申請に際し、まず調査員が申請者を訪問する認定調査が行われるが、その件数が多く調査まで約1か月かかると言われたと聞く。職員に件数と調査内容の負担が大きいのではないかと。改善について伺う。	
2 府中市ではこの工程の効率化サービスを導入している。介護認定調査員支援システム、介護認定審査システム、認定業務サポートであるが、導入の見解を伺う。	
3 介護保険では福祉タクシーの運賃部分は適用されない。そこで介護認定者のための福祉タクシー乗車券の交付ができないか伺う。	
4 国は介護保険外の生活援助サービスを民間連携するモデル事業創出に向けた補助事業を実施する。訪問介護の生活支援でヘルパーでなくても提供できる部分も含め保険外の生活援助民間連携サービスをつくりその利用料を市が補助する仕組みについて見解を伺う。	
質問事項 2	学校施設の空調設備設置
具体的内容 学校の特別教室、体育館への空調設備設置について早急に進め、30度超えの中で頑張る子供たちの声を聴かなければならない。2018年に普通教室での室温を調査した時は31.5度、2025年8月では32.6度、7年前に比べて室温は上昇しており、以下について伺う。	
1 特別教室への空調設備導入計画は作成されるか。	
2 体育館の空調可能性調査に基づく設置概算費用は、1校当たり6,000～9,000万円、断熱性確保工事概算費用は1校当たり2,000～4,000万円とし、床面積の大きいところでは交付金上限額の7,000万円を超えるとしているが、体育館容積全体を空調する必要はなく、対流式とふく射パネルを組み合わせたエコウィンハイブリット方式であればランニングコストを含めた費用低減は可能であり、設置費用5,000万円、断熱工事窓の遮熱シートで200万円の設置費用としても交付金で2,600万円で設置できる。京都府八幡市では、築50年の体育館で断熱工事なしで対流式とふく射パネルを組み合わせたエコウィンハイブリット方式を最もよい方式として導入している。令和8年度から3校ずつ設置できないか。	
質問事項 3	結婚子育て支援
具体的内容	
令和7年度よりハッピーマリッジ事業を開始し地域全体で結婚子育てを応援しようとしているが現状の分析と結果の出せる取り組みについて伺う。	
1 いま子どもを持ちたくないと思っている若者（15-39歳）はどのくらいいて、なぜそう思うのか現状どこに課題があると分析しているか。	
2 イベント、ライフデザインを考える機会提示システム、相談が柱と考える。出会いの場としてスポーツ観戦縁結びツアー、将来を考えるライフデザインシミュレーター、相談がスタートするが他と違う特徴はあるか、またその周知はHPに載せるだけか伺う。	
3 もう一つは本気のジェンダー平等を確立していく事と考える。豊岡市はジェンダーギャップの解消に向けて取り組み、若い女性を呼び戻しつつあると聞く。ジェンダーギャップ解消戦略は結婚子育て支援の有効な取り組みだと思えるが見解を伺う。	